



# みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉 私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより 令和5年2月15日 第32号 みなみ学園義務教育学校

## ひなまつりプロジェクト開催中



こいのぼり  
プロジェクトも  
計画中です！

雛壇づくりに協力してくださった皆様

男子はつるし雛づくりをしました

今、西昇降口には3基の雛壇が飾られています。貸与くださった市毛さん、檜佐さん、北中さんには心から感謝申し上げます。2月6日、子どもたちは、人形に汚れや傷がつかないように、手袋をはめて雛壇づくりをしました。サポートしてくださった学校運営協議会の皆様、みなみ学園サポーターズの皆様、地域の皆様には、本当にお世話になりました。ありがとうございました。「立派な雛飾りだね。」「お人形の顔がみんな違うね。」などと口にしなが、子どもたちは、厳かなひなまつりの雰囲気を楽しんでいました。保護者の皆様におかれましても、授業参観の折には、昇降口前並びに図書室前(つるし雛)で行われている「ひなまつりプロジェクト」をぜひご覧ください。この後、3月2日には、お昼の校内放送でひなまつりの由来などについて放送し、3月6日には、再び学校運営協議会の皆様、みなみ学園サポーターの皆様、地域の皆様のお力添えをいただき、片づけをする予定です。

## 2/7(火) 1~4年生が水戸ホーリーホックの選手とサッカーをしました



水戸ホーリーホックから2名の選手をお迎えして、サッカー教室が行われました。子どもたちは大喜びです。特に、男女混合で行った試合は、とても盛り上がり、グラウンドに歓声が響きました。昨年度はオンライン授業期間のため中止になっていたこともあり、実施の喜びもひとしおでした。



令和3年度「宇宙の日」記念 全国小・中学生作文絵画コンテスト (JAXA 主催) 小学生作文の部でグランプリ (日本一) だった7年生の長堀奏音さん。コロナ禍の影響で延期になっていた、種子島宇宙センターでの表彰式に参加しました。宇宙の研究をする仕事に就きたいと話す奏音さん、宇宙センターを直に見る機会を得て、ますます宇宙に思いを馳せたのではないのでしょうか。



学年	県平均より 1番点数が 高かった教科	令和4年度		
		県	本校	差
4	国語	71.4	74.8	3.4
5	算数	59.9	71.4	11.5
6	算数	68.3	70.3	2.0
7	国語	58.4	69.1	10.7
8	英語	59.7	67.9	8.2

## 令和4年度 みなみ学園では学力向上が見られました

～学力診断のためのテストから～

1月12・13日に茨城県学力診断のためのテストが行われました。本校では、実施した4～8年生のすべての学年で、4教科合計点（後期課程は5教科合計点）が茨城県の平均点を上回るなど、学力向上が見られました。特に、7年生の昨年度からのジャンプアップは見事でした。前期課程から教科担任制を取り入れたり、算数・数学学力向上支援員を活用したりするなどの取組に効果があったと考えます。今後は、各学年とも、誤答や無答が見られた問題について復習・解き直しを行い、弱点をしっかりと補強して新年度を迎えたいと思います。

## もうすぐ2年生に・・・～頑張った1年生～

1年生は、生活科の授業の中で、凧揚げを楽しみました。凧は、自分でデザインしたものです。この日は、絶好の凧揚げ日和。子どもたちの想像以上に凧は高く揚がり、子どもたちは大喜びでした。入学したころは、学校生活や集団生活に慣れることに、とても苦労している様子もあった1年生でしたが、担任の先生を始め、多くの先生方や上級生に「大丈夫」と優しく声をかけてもらいながら、できることを一つずつ増やしていきました。複数の幼児教育施設からの入学があり、友達がいない状況だった子どもたちもいましたが、すっかり打ち解け、仲間としてのまとまりもできてきた様子に、大きな喜びを感じます。

桜が咲く頃、27名の新入生を迎えます。新入生に優しくできる2年生になることでしょ。

## いつの間にか県立高校入試&卒業の日が近づいています・・・



明朗快活で、男女の仲もとてもよかった9年生。何事もよく話し合っていた姿が印象的です。

最高学年として、様々な場面で活躍した9年生が、3/3に県立高校入試、そして、3/13に卒業の日を迎えます。とても優しかった9年生、いつも下級生のことを思いやる姿がありました。9年生のおかげでできたこと・うまくいったことがたくさんありました。もうすぐ県立高校入試がありますが、受験生活に、無駄な努力は一つもないと思います。つらい経験や我慢の積み重ねは成長につながると思います。受験生活で得られるものは、勉強の成果だけではありません。今後の人生の糧になりますから、あきらめずに前に進んでほしいと思います。希望の春は、もうすぐそこまで来ています。

いつも学校の中心にいた9年生。9年生ががんばったからこそ、できた行事・活動がたくさんありました。



(文責：野尻)